

平成28年第1回上里町議会定例会会議録第5号

平成28年3月14日(月曜日)

本日の会議に付した事件

日程第29(町長提出議案第21号)平成28年度上里町一般会計予算について

日程第30(町長提出議案第22号)平成28年度上里町国民健康保険特別会計予算
について

日程第31(町長提出議案第23号)平成28年度上里町介護保険特別会計予算につ
いて

日程第32(町長提出議案第24号)平成28年度上里町後期高齢者医療特別会計予
算について

日程第33(町長提出議案第25号)平成28年度上里町農業集落排水事業特別会計
予算について

日程第34(町長提出議案第26号)平成28年度上里町水道事業会計予算について

日程第35(町長提出議案第27号)平成28年度上里町下水道事業会計予算につ
いて

出席議員(14人)

1番 飯塚賢治君	2番 戸矢隆光君
3番 仲井静子君	4番 猪岡壽君
5番 齊藤崇君	6番 岩田智教君
7番 植井敏夫君	8番 高橋正行君
9番 納谷克俊君	10番 新井實君
11番 沓澤幸子君	12番 高橋仁君
13番 伊藤裕君	14番 植原育雄君

欠席議員 なし

説明のため出席した者

町長	関根孝道君	副町長	高野正道君
教育長	下山彰夫君	総務課長	岸智敏君
総合政策課長	片岡浩一君	税務課長	須長正実君
町民福祉課長	板垣延雄君	子育て共生課長	山田隆君
健康保険課長	山下容二君	高齢者いきいき課長	小暮秀夫君
まち整備環境課長	強矢賢君	産業振興課長	南雲定夫君
上下水道課長	宮下忠仁君	学校教育課長	谷木章二君
学校指導室長	福島彰君	生涯学習課長	金井孝君
郷土資料館長	金井孝君	会計管理者	安藤達夫君

事務局職員出席者

事務局長 飯塚好一 係長 戸矢信男

開 議

午前9時0分開議

議長（伊藤 裕君） ただいまの出席議員は14名であります。定足数に達しておりますので、ただいまから散会前に引き続き、本日の会議を開きます。

日程第29 町長提出議案第21号 平成28年度上里町一般会計予算について

議長（伊藤 裕君） これより日程第29、町長提出議案第21号 平成28年度上里町一般会計予算の質疑に入ります。

まず、歳入についての質疑に入ります。

質疑のある方は順次発言を許可いたします。

なお、質疑は予算書の5ページから8ページまでと、予算説明書の5ページから24ページまでの質疑を願います。

また、質疑のある方は、予算書、予算説明書のページを指定してから質疑を願います。

質疑はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔11番 沓澤幸子君発言〕

11番（沓澤幸子君） それでは、質問させていただきます。

予算に関する説明書のほうでお願いしたいと思います。7ページです。

個人町民税は1万5,061人で、前年より224人増えたの見越しての予算で、180万7,000円の増額を見込んでいるというふうに思いますけれども、この理由としては、年金支給年齢が遅れていることや、年金収入が、いわゆる年金が減らされていることなどで、働く人が増えて、納税者が増えているためだということでありましたけれども、上里町の町民1人当たりの所得平均は227万7,534円というふうに説明をいただいたわけでありますけれども、県内ではどのぐらいの位置になるのか、ひとつお尋ねしたいと思います。

同じく町税の法人分ですが、去年は625法人、今年は636法人に増えているということですが、前年の2,240万4,000円を上回る、前年も減額だったんですね。3,735万4,000円の減額見込みとなっています。法人税割が前年度から変わって、9.7に下がっているわけでありますけれども、それは昨年と今年度とは変わっていないわけであります。にもかかわらず、前年の税割が引き下がったよりもさらに上回る減額になっている大きな要因としては何があるのか、お聞きしたいというふうに思います。

次に、10ページの地方交付税でありますけれども、国全体では減額になる見通しのようですが、3月の補正状況を見ると、今年度1億円増の予算を組んだことも妥当かなというふ

うにも思ったりもするわけなんですけれども、この辺の見通しについて、お聞きしたいというふうに思います。

法人税割が引き下がったりする部分のお金が、地方交付税的な使われ方をしていく方向になっているのかどうか。また、関連して、24ページにもいくんですけれども、臨時財政対策債ですね。今まで地方交付税の不足を補う形で、地方交付税が発行されてきたわけでありましてけれども、今年度は4,500万円減額になっています。上里町が借り入れできる限度額に対して、どのぐらいの予算を組んでいるのか、まずそれを1点お聞きしたいと思います。

以前からの説明によりますと、臨時財政対策債は後の交付税に100%算入されるという説明でありますし、今年度、町債全体では2億2,870万円の増額になっているのですから、限度額いっぱい借りたほうが有利なのではないかと思ったりもしますけれども、いかがでしょうか。

あと、22ページに戻りますが、貸付金元利収入は、現年度分は最終年度となるようですが、滞納繰越分については104万4,000円の見込みであります。前年度より9万円の減額ですが、何%を見込んでいるのかお聞きします。28人中10名は分割納付が今されており、8人は交渉中との説明でしたが、残り10名の内容について、詳しく説明を求めたいと思います。お願いします。

議長（伊藤 裕君） 税務課長。

〔税務課長 須長正実君発言〕

税務課長（須長正実君） 沓澤議員の質問に対して御説明申し上げます。

個人町民税の、住民の方の平均所得の昨年の状況ということでございますけれども、順位におきましては、調べた資料によりますと、昨年26年度の総務省発表資料より推計した数字ということで、上里町は269万7,689円で57位と、県内順位におきましては57位という資料がございました。

それから、もう1点、法人税割の関係ですけれども、法人税割の税率が12.3%から9.7%に下がったという影響でございますけれども、こちらは、平成26年10月1日以降に事業年度を開始する会社で、税率が12.3%から9.7%に下がったということでございます。実際、税額の計算をしますのは、1年間過ぎて、中間申告と確定申告というのがございますけれども、12カ月後、1年後の過ぎた後の2カ月後以内に確定申告をして、納付するということになってございます。したがって、10月1日以降の1年後といえますと、翌年の10月1日以降、確定申告をして納付ということがございますので、11月ごろから影響が出始めるものと考えられます。

したがって、27年度、昨年度も、その影響が出るというふうに申し上げましたけれども、28年度におきましては、4月から全ての会社において影響が出るということで、約21.14%の減額を見込んでございます。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） 子育て共生課長。

〔子育て共生課長 山田 隆君発言〕

子育て共生課長（山田 隆君） 沓澤議員の御質問に御説明させていただきます。

22ページの貸付金元利収入、住宅資金の貸し付けの償還金に関してでございます。こちらの滞納繰越分が昨年度と比べて若干の減になっているということで、その収納の割合等の見込みということでございます。

こちらにつきましては、調定でいきまして、6,300万円ほど毎年推移してございます。そちらに対しまして、104万4,000円の計上ということですので、率にしますと1.65%の収納率ということで見込んでございます。

それから残り、交渉まだできていない10名についてでございます。10名の方の内訳ですけれども、死亡されている方が5名、生保の方が1名、債権放棄されている方が1名、それから、県外等でなかなか連絡がとれない方が3名という内容になっております。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） 総合政策課長。

〔総合政策課長 片岡浩一君発言〕

総合政策課長（片岡浩一君） 沓澤議員の御質問を地方交付税及び臨時財政対策債について、4点いただいたかと思しますので、順次御説明を申し上げたいと思います。

まず、1点目の地方交付税の関係でございますけれども、国の地方交付税、地方財政計画案に基づく交付税の見通しが減であるにもかかわらず、上里町において増とした理由ということで、見通しでございますけれども、まず、地方財政計画の公表された内容に基づきますと、国全体の地方交付税の総額につきましては、前年比マイナス0.3%ということで、微減ということでございます。

上里町におきましては、今年度、普通交付税として8,000万円増額の予算を計上いたしました。詳細説明でも申し上げましたとおり、近年の地方交付税の決算額を勘案して計上したものでございますけれども、国の地方財政計画全体の見通しというものは、あくまでも国全体の見通しということでございまして、それぞれ市町村においては事情が違うところも少しずつ出てまいります。

なお、参考に申し上げますと、市町村の基準財政需要額の推計で一番大きなところで、個別算定経費と言われているものがございしますが、そちらは増減なしということで国が見込んでおります。したがって、上里町でも同様の考え方で計上いたしました。

そして、平成27年度に新設されました人口減少等特別対策事業費につきましては、27年度の

新規の算定であったことから、町としての正確な見込みができなかったため、この分を平成27年度の地方交付税の見通しとしては見込んでおりませんでした。今年度、実績が出てまいりまして、ほぼ昨年度と同様の推計になるということでございましたので、この分を勘案して、より正確な見積もりを出したところでございます。

また、歳入面から申し上げますと、地方財政計画全体では税収の増を見込んでおりますが、近年の上里町の町税の推移を見ますと、必ずしも町においては、基準財政収入額の増というのがそこまで見込めないだろうという推計のもとに試算した結果として、前年度よりも増額の地方交付税の見込みとしたというところでございます。

また、特別交付税につきましては、近年、この2年間算定をされておりました平成26年度の雪害に対する経費が来年度はなくなる見込みでございますけれども、一方、新たな特別交付税の算定基準となる特別な財政需要が来年度見込まれることから、その分を勘案して、特別交付税につきましては増というふうに見込んでおります。

続きまして、2点目の法人税制の関係で、法人税割の引き下げ分が交付税に入るのかという考え方についてでございますけれども、新しく地方法人税というものが制度化されておりました、各地方公共団体の地方法人税割分を、そちらの国税である地方法人税のほうに回しているというような状況でございます。この分につきましては、各市町村それぞれの基準財政収入額等の計算に用いるというよりは、むしろ交付税の原資として活用されるというふうに理解しております。

したがって、直接的に上里町の地方法人税割が減少となった分が、そのまま上里町の交付税として入るわけではございませんけれども、地方財政計画全体の中では、交付税の貴重な原資として活用されるというふうに理解しております。

続きまして、臨時財政対策債の関係でございますけれども、平成28年度において、上里町の臨時財政対策債は幾らが発行限度額になるのかにつきましては、まだ普通交付税の算定が行われておりませんので、明らかとすることができません。したがって、前年度からの比較で算出した結果が3億9,000万円というところでございます。

平成27年度の発行限度額は5億1,000万円強でございました。これに、地方財政計画上、来年度臨時財政対策債は、市町村分において全国でマイナス16.3%になるということでございます。その結果、単純に発行限度額にマイナス16.3%を掛ければ、平成28年度においては、上里町の限度額については4億2,000万円少しというふうに計算がなされます。平成27年度の臨時財政対策債の予算額が4億3,500万円でございますので、これにマイナス16.3%を掛けますと、3億6,000万円強ということになります。

今回予算を計上しておりますのが3億9,000万円でございますけれども、臨時財政対策債に

つきましては、その年の財源不足額がどの程度になるかというのが、普通交付税の算定まで明らかになりませんので、予算編成をする段階において、発行限度額いっぱいまでの予算を組むというのは、一般的な財政的な考え方から申し上げますと、それは余りやらないのかなというところでございます。したがって、今回につきましては、発行限度額の前年対比と平成27年度の予算額対比のちょうど中間点、3億9,000万円程度を見込んだところでございます。

なお、限度額いっぱいまで借りたほうが有利ではないかといった御指摘でございますけれども、後年度の基準財政需要額に全て算入がなされますので、そういった考え方もあろうかと思いますが、そのあたりは、その年度の歳入の状況ですとか地方債の借入額の状況などを見て、全体的な財政の中での検討としていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔 11番 沓澤幸子君発言 〕

11番（沓澤幸子君） 一つ落とししましたので、歳入の18ページでお尋ねしたいと思います。県支出金であります。額は非常に少ないんですけども、自衛官募集事務費委託金、前年度は5,000円だったんですね。これが2万4,000円に、約5倍になっているわけなんですけど、県のほうから特別な、こういうふうな使い方みたいな指導があるものなのかどうか、お聞きしたいと思います。

議長（伊藤 裕君） 総務課長。

〔 総務課長 岸 智敏君発言 〕

総務課長（岸 智敏君） 沓澤議員の御質問に御説明させていただきます。

自衛官募集事務の委託金が伸びているということでございますけれども、これにつきましては、委託金の算定の中に、前年度の入隊者の人数により増減をします。それから、人口的なものについては、そんなに変化はないんですけども、あとは事務の実績、その他ということで算出されております。

それで、この業務の内容ですけれども、広報等に入隊の記事を掲載したりということで、これが町のほうの事務になっております。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

14番、植原育雄議員。

〔 14番 植原育雄君発言 〕

14番（植原育雄君） 説明書のほうの15ページですけれども、款14国庫支出金、項3委託

金、節1の戸籍住民基本台帳費委託金でありますけれども、中長期在留者住居地届け出等事務費委託金24万8,000円となっておりますけれども、説明では90日を超える人という説明があったと思いますけれども、何人が対象となっているのでしょうか。その内容と積算根拠について、説明をお願いいたします。

議長（伊藤 裕君） 町民福祉課長。

〔町民福祉課長 板垣延雄君発言〕

町民福祉課長（板垣延雄君） 植原議員の御質問に対しまして、説明のほうをさせていただきたいと思います。

まず、中長期在留者居住地届け出等事務委託金についてでございますが、これは、県のほうから定額という形で、今年24万8,000円が内示されております。

内容につきまして、まず人数ですが、今年1月末の段階で1,017名の方が中長期在留の対象として、有資格者として登録されております。一応資格としては、先ほどお話がありましたように、90日を超える中長期の在留資格を日本国において持っている方の住民情報の取り扱い、それに関する委託金という形になってございます。

以上です。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） 質疑がないようですので、歳入についての質疑を終了いたします。

次に、歳出についての質疑に入ります。

質疑のある方は順次発言を許可いたします。

なお、歳出の質疑については、予算書の9ページから12ページまで、予算説明書の25ページから162ページまでの質疑を願います。

質疑はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔11番 沓澤幸子君発言〕

11番（沓澤幸子君） それでは、質問させていただきます。

まず初めに、39ページです。総務管理費のところなんですけれども、生活バス路線運行支援補助金141万6,000円でありますけれども、交通弱者対策としては、私も非常に大事だというふうに考えていますけれども、前年度は当初予算で102万6,000円でしたが、3月補正で205万9,000円になったところです。

このバスは1市2町で補助を行っていると思いますが、負担割合と3市町合わせた総額、補助額とその効果について、お聞きしたいなというふうに思います。交通弱者対策として重要で

すけれども、もう少し効率性のある補助の仕方、足の確保ができないのかなというふうに思ったりしますので、お願いしたいと思います。

次に、40ページのコミュニティ助成事業助成金でありますけれども、これも3月補正で、1団体の1行政区の補助が減額されています。今回は2行政区の申請を念頭に置いてあるようでもありますけれども、この2行政区というのは、新たな申請になるのか、前年度、残念ながら減額になった行政区を加えての申請になるのか、お尋ねしたいというふうに思います。

51ページでありますけれども、賦課徴収費の報償費として、前年度は口座振替申込推進事業ということで45万円が組まれていたわけなんですけれども、今回はなくなっていますけれども、振込口座が伸びれば非常にいいんじゃないかなというふうに思っていますけれども、目標を達成したということなのか、なくした理由についてお尋ねしたいというふうに思います。

次に、54ページの交付金、通知カード・個人番号カード交付事業交付金は、100%国の交付によるものなんですけれども、これで上里町の、何枚分というか、何人分が該当しているのか。テレビや新聞報道などによりますと、窓口でなかなかスムーズに交付ができないというようなことを耳にしていますけれども、上里町は1月から交付が始まって、現状はどうか、お尋ねしたいというふうに思います。

67ページの民生費であります、高齢者・障害者宅家具転倒防止対策補助金、前年度と同額で50人を見込んでいるわけでもありますけれども、使い勝手はどうか。その辺について、前年の実績と併せてお尋ねしたいというふうに思います。

その下の委託料でありますけれども、介護予防ケアマネジメント事業委託料、これは要支援1・2のプラン作成に関わるものであり、事業所に委託する内容だと思いますけれども、前年の半額以下になっております。492万4,000円の減額ですね。要支援1・2が新しい総合事業に移行するということでしょうけれども、移行してもプランは作成するんじゃないかなというふうに思いますので、単価の変更なのか、その辺の具体的な事情について、お尋ねしたいと思います。

76ページの民生費の児童福祉費のところでお尋ねします。児童館なんですけれども、全協での説明では、七本木・長幡・東小児童館の合算した臨時職員の人数の報告でありましたし、賀美・神保原についても合算した報告でありました。実際問題、午前中、午後通して、それぞれ何人ずつ配置されているのか、お尋ねしたいというふうに思います。

児童館の本来の目的よりも、放課後児童健全保育のための館になっているんじゃないかなというふうに思うところがありますので、その辺の人員配置について、お尋ねしたいというふうに思います。

ちょっと戻りまして、75ページからずっと続く保育園の関係についてもお尋ねしたいと思います。

ます。

長幡・中央保育園ともに、臨時職員の賃金は保育士7名と調理師1名ずつということで、しかしながら、収入の24ページの説明で、保育所職員給食費負担金は31人分との説明でした。そうしますと、両園合わせた臨時保育士、臨時職員は16名で、正規職員は15名ということになると思うんですけれども、臨時職員の賃金はどのようになっているのか、伺いたいと思います。

自治体によっては、保育士不足の事情から、採用年齢を引き上げているところもあります。そうした考えは持っていないのかどうか。また、臨時職員といっても、正規職員と同じ仕事に従事している大変重要な仕事でありますので、資格に応じた賃金になっているのかどうか、伺いたいというふうに思います。

143ページの給食センター管理費でありますけれども、大幅な増額で、28.7%増の2億423万5,000円ということではありますが、調理全面を民間委託するというようにお聞きしましたが、今現在の給食に従事している職員の人数と、民間委託になることによって、どのように変わるのか。前年度、異物混入などの事例も起きたわけでありまして、きちっと責任を負っていく、公的に責任を負っていくということが求められていると思いますけれども、その辺についての考えをお聞きしたいというふうに思います。

また、給食センターの上里の負担割合は38.85%で、だいぶ高くなってきているというふうに思います。一方で、長いこと、上里町給食議会における割合ですね。上里町は3人ということで、本庄市が7人ということで推移してきていると思うんですけれども、やはり負担割合に応じた人数にしていく必要があるというふうに思いますけれども、町長の考えもお聞きしたいというふうに思います。お願いします。

議長（伊藤 裕君） 総合政策課長。

〔総合政策課長 片岡浩一君発言〕

総合政策課長（片岡浩一君） 沓澤議員の御質問につきまして、御説明を申し上げたいと思います。

まず、39ページにございました公共交通ネットワーク促進事業のうち、生活バス路線運行支援補助金についてでございます。こちらは、本庄駅から神泉総合支所までの、朝日バスが運行する神泉総合支所線への赤字補填でございまして、沿線自治体の路線キロ比率で案分して計算しております。その内容については、協定書でそういった形で考えておりまして、負担割合を申し上げますけれども、路線キロ全体が20.16キロメートルでございます。そして、本庄市、神川町、上里町と、あと群馬県の、本当に短い距離でありますけれども、藤岡市を通過しておりますので、この4自治体で負担をそれぞれしているわけでございますが、このうち、上里町を通過する経路が5.46キロでございますので、20.16キロに対する5.46キロの割合で、負担割

合は27.08%になっているところでございます。

続きまして、総補助金額ということでございますけれども、まず平成28年度の当初予算におきましては、基本的に補助金の算出基礎は、前年度損失額を補助するということになっておりますが、まだ平成27年度の損失額が確定しておりませんので、予算作成時には前々年度の損失額をもとに予算計上しております。したがって、平成26年度分の損失をもとに予算計上して行っているわけでございますけれども、この点につきましては、昨日御議決をいただきました平成27年度の補正予算の損失の考え方と同じことになるわけでございます。全体の赤字分から国庫補助額を引いた沿線市町の負担する額は522万6,491円ということで見積もって、予算計上しております。そのうちの上里町の負担率が27.08%でございますので、今回予算としてお願いしております141万6,000円ということになります。

なお、この2年間、損失額が大幅に増えてしまっている理由というのが2点ございまして、1つ目は、神泉総合支所線の収入額が平成26年度において減少したということがございます。乗降客につきましては1万8,000人ほど、25年度に比べて増加しておりますけれども、新たに朝日バスが特殊通学定期というものを導入いたしまして、こちらは通常の通学定期よりも割引率が大きいものであります。この定期を購入してバスに乗車する客数が増えたため、結果的に収入の落ち込みにつながってしまったということであります。

第2点目は、収入以外の支出のほうでございますけれども、やはり近年、バスの運行に対する安全運行の確保というものが盛んに議論されているところでございますので、新たにドライブレコーダーの設置を行ったことに伴い、償却費が増加したといったことでございます。したがって、27年度については、このドライブレコーダーの償却費もプラスされているということでございます。

収入につきましては、27年度の秋ごろ、現在の状況を関係市町と朝日バスに対して聞き取り調査を行ったところ、27年度はさらに伸びているということでありまして、特殊通学定期の導入を行った関係があっても、27年度は収入の伸びにつながりそうだということでございます。

さらに、効率性のある補助はできないかというような御指摘でございますけれども、今回補正予算で、このように大きな額を計上するお願いをして、議決をいただいたわけでございますが、今後こういった形で、補助金額に大きな影響を与える事案が生じた場合には、事前に各市町と朝日バスのほうで十分に協議を行った上で、補助金額といったものを決めていきたいと思います。ということで要請を行いました。

特殊通学定期の導入で収入が落ち込んだということでございますので、ある意味、各市町の、沿線市町の補助金をもって、高校生ですとか、そういった方の通学の便をより向上させたということでの理解をいただければというふうに思っております。

続きまして、40ページのコミュニティ活動事業の中のコミュニティ助成事業助成金でございますけれども、こちらにつきましては、沓澤議員の御指摘のとおりでございます。平成27年度において申請を行ったものの、残念ながら採択がなかった1行政区を含めた上での2行政区の計上としております。

こちらにつきましては、県全体の申請状況、また、原資となります宝くじの売上額、そういったものにもよります。毎年の助成対象行政区が異なっている状況でございますので、当初予算に計上した上で申請をしなければ、そもそも採択がなされないといったような事務手続の関係もございまして、近年最も多かった2行政区の採択があった年がございます。今年もそれを期待して、2行政区の予算をお願いしたといったところでございます。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） 税務課長。

〔税務課長 須長正実君発言〕

税務課長（須長正実君） 沓澤議員の御質問に対して御説明申し上げます。

賦課徴収費の口座振替推進キャンペーンの廃止の理由ということでございますけれども、こちらの口座振替推進キャンペーンにつきましては、今年度の7月から11月にかけて実施したところでございます。全税目を口座振替に切り替えた場合、500円の上里町共通商品券を進呈するという内容のものでございました。しかしながら、実施した結果、その共通商品券進呈対象者は136件ございまして、昨年度の切り替え件数に比べても、大幅な増加が見込めなかったという結果でございました。

確かに、口座振替につきましては、手数料の関係もございまして、確実な納期内納付ということで、非常に町としても推進しているところでございますけれども、今年度、個人町民税におきましては特別徴収一斉指定ということで、全県で会社からの給与天引きを進めているところでございます。そういった関係で、自分で納付する必要がなくなったという方も多くいたと思われましても、個人町民税におきましても、昨年度と比較しまして、大きく伸びていないという事情がございます。

逆に、コンビニ収納につきましては、昨年度の実績でございますけれども、件数ベースで20.3%から21.4%というふうに伸びてございます。24時間いつでも納められるという手軽さが受けて、非常にこちらにつきましては、当初20%を目標にしていたんですけれども、大きく伸びている状況というのがございます。

なかなか、来年度におきましては、キャンペーンを実施しても、効果を考えますと、それほど状況に大きな変化はないだろうということで、今年度は廃止ということで計上させていただきました。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） 町長。

〔町長 関根孝道君発言〕

町長（関根孝道君） 先ほど沓澤議員がおっしゃられておりましたように、負担割合が上里町は38.85%ということで、上里町の議員さんが3人出ておるわけでございます。本庄市におかれましては、7人の議員さんがいるわけでございますから、7対3ということでございまして、4割近くの方が上里町で負担をしているということでございます。

当初は、本庄市のほうが人口割合が多かったのではないかなと、そういう当初の割合でやったんだろうというふうに考えておるわけでございますけれども、近年におかれましては、上里町のほうが、比率からいいますと、児童数が増えてきたと。そういうことの中で、38.85%まで来ているということでございますので、私のほうからも市長ともお話し合いをさせていただきまして、上里分を7対4でということでどうだというような話もさせていただきたいと、このように考えておるところでございます。

議長（伊藤 裕君） 副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） それでは、関連でございますけれども、本庄上里学校給食組合の運営事業の関係の、今年度、約4,449万円程度の負担金の増ということでございますので、その増の理由について御説明をさせていただきます。

今回の4,494万1,000円の増の理由でございますけれども、この関係については、調理業務等の委託が主な原因でございます。今回、給食センターのほうが、調理業務について全面委託をするということでございますけれども、その背景といたしましては、基本的には、給食センターの職員のあり方が大きく原因としてあるわけでございます。

昭和43年発足当時から約30年間は、ほとんど正職員が調理を行ってまいりましたけれども、平成10年度を最後に新規採用の職員の採用がなく、年々正職員が減少する中で対応してきたところでございます。センターの考え方としては、職員については不補充を原則として、平成10年度以降、将来的には全面委託するという方向で対応してきたということでございます。

新しい給食センターが稼働した21年度には、約19名の正職員がおりましたけれども、平成27年度は8名ということで、大変少なくなってきているところでございます。その不足する分を臨時職員などで雇っている、補っているという状況でございます。そのため、今年度、給食センターでは、委託化することで検討を進めまして、関係する本庄市と上里町でも協議を進めまして、給食センターの議会でも報告・検討し、平成28年度から全面的に委託化することになったものでございます。

なお、委託化に伴いまして、給食センターについては、正規職員 8 名が現在おるわけですが、もちろん、引き続き雇用する必要があるわけですが、3 名につきましては、アレルギー対応給食のさらなる充実のための調理を行い、残る 5 名のうち 3 名は本庄市、2 名については上里町に派遣、内容的には保育所の給食の調理を行うというような形で派遣されるわけですが、具体的な 4,400 万円の増の理由につきましては、担当課長のほうから説明をさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

議長（伊藤 裕君） 学校教育課長。

〔学校教育課長 谷木章二君発言〕

学校教育課長（谷木章二君） それでは、沓澤議員の御質問に、副町長の後、御説明を、概要を申し上げます。

主な増減理由につきまして、給食センターからの資料をもとに概要説明させていただきます。

これまで給食センターでは、先ほど言われたとおり、49 名により調理業務を行ってまいりました。その人件費相当額につきましては、約 1 億 1,900 万円で行ってまいりました。平成 28 年度につきましては、調理業務を委託化し、56 名体制とするものでございます。人件費相当額につきましては、約 1 億 4,300 万円となります。

給食センターの調理業務に携わる人数が 7 名ほど増加いたしますけれども、これにつきましては、御飯を炊くための人数が増えるもので、これに要する費用が約 2,400 万円の増ということでございます。

さらに、現在主食の米飯でございますが、埼玉県学校給食パン・米飯協同組合から、炊いた御飯という形で購入しておりますけれども、平成 28 年度からは給食センターで、委託先に炊飯してもらうこととなりますことから、御飯を炊くための経費、光熱水費などは委託料の中に含まれることとなるものでございます。そのため、委託で炊飯することによる支出が約 3,000 万円増といった形になります。

また、先ほど副町長からのほうから申し上げました平成 27 年度の 8 名の正規職員につきましては、平成 28 年度もそのまま給食センターの職員として残るものでございますけれども、先ほど副町長のお話ししたとおり、アレルギー給食などの充実を図るため、通常の調理員とは別の業務を行ってまいりますので、この人件費相当の費用約 5,800 万円ということでございます。

このような増加理由などにより、約 1 億 1,200 万円の増となりますことから、負担金の増額が今回発生したものでございます。

以上で説明とさせていただきます。

議長（伊藤 裕君） 高齢者いきいき課長。

〔高齢者いきいき課長 小暮秀夫君発言〕

高齢者いきいき課長（小暮秀夫君） 沓澤議員の御質問に御説明をさせていただきます。

高齢者・障害者宅家具転倒防止の内容でございますけれども、使い勝手がよいでしょうかという御質問でございますけれども、チェーンで支えるとかポールで支える、それとくさび、あとは飛散防止フィルムということで、使い勝手はよいのではないかなというふうに考えております。

それと、実績につきましては、平成27年度の2月末でございますけれども、ゼロ件ということでございます。

次の質問でございますけれども、介護予防ケアマネジメント事業の委託料でございますけれども、こちらにつきましては、現行のケアプランも委託でございます、単価は4,300円でございます。減額の理由といたしましては、総合事業に移行した分が金額は減額しておりますので、ページの的には介護保険の特別会計、222ページのほうにということでございます。それと、単価につきましては4,300円に変更はございません。

以上です。

議長（伊藤 裕君） 町民福祉課長。

〔町民福祉課長 板垣延雄君発言〕

町民福祉課長（板垣延雄君） 沓澤議員の御質問に御説明をさせていただきたいと思っております。

54ページの通知カード・個人番号カード交付事業費の交付金についてですが、まず、上里町の枚数ということでお聞きしたかと思うんですが、当初この事業、27年度、今年度から始まりまして、国の予定では、全国で1,000万枚の発行を見込んでおったようでございます。この1,000万枚、率にいたしますと、およそ8%強、この数字を上里町に置き換えますと、2,500から600ぐらいの数字になろうかと思っております。この数字が一つの目安になるかなと考えております。

それと、もう1点、交付枚数についてですが、これは今月10日の数字でございますが、405名の方に個人番号カードのほうのお渡しが済んでございます。その後、順次進んではおります。

以上です。

議長（伊藤 裕君） 子育て共生課長。

〔子育て共生課長 山田 隆君発言〕

子育て共生課長（山田 隆君） 沓澤議員の御質問に説明させていただきます。

児童館と公立保育園の、それぞれの臨時の状況ということでございます。

まず、児童館に関しまして、臨時職員の数はどうなっているかということで、予算ベースで御説明申し上げます。各館それぞれ、夏休みの臨時職員の賃金が1名ずつ入っておりますけれども、それを除きまして、通常で御説明させていただきます。

七本木の臨時職員につきましては常勤が2名、それから午後勤務が3名、東につきましては常勤2名の午後勤務が5名、長幡につきましては常勤1名、午後勤務が3名、神保原につきましては常勤1名、午後勤務5名、賀美につきましては常勤2名、午後勤務4名という状況でございます。

それから、公立保育園の臨時職員の賃金の状況でございます。臨時職員の賃金につきましては、月額約16万円弱ということでございます。また、それが資格に応じた賃金となっているかどうかという御質問ですけれども、こちらにつきましては資格者として賃金を見込んでいる状況でございます。

以上です。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

5番、齊藤崇議員。

〔5番 齊藤 崇君発言〕

5番（齊藤 崇君） まず最初に27ページなんですけれども、説明欄の4共済費、この市町村職員組合負担金4,967万7,000円とありますけれども、27年度は5,202万円ということだと思っておりますけれども、これの説明をもう一度お願いしたいと思います。聞き漏らしたかもしれないので、よろしくお願いします。

それから、32ページの広報発行业業、広報が約1万8,000部というふうに説明があったと思うんですけれども、これが569万8,000円で、27年度が530万7,000円、対比として39万円増なんですけれども、27年度はどのくらいの部数を発行していたのかお聞かせ願います。これは単純に印刷費とかが上がっているのか、それか、もしくは部数を多くしたのか、増減があったのか、その辺もお願いいたします。

それから、34ページの説明欄の委託料1,152万3,000円、財産管理事業の13番の委託料、ここなんですけれども、これが1,152万3,000円というふうに予算化されていますが、これ、今年度までは町有地の除草、要するに公園とかの除草費というのが計上されていたと思うんですけれども、28年度はその可能性というか予算は必要ないのかということと、もしあるんだったら幾ら計上するのか。

それから、電話交換総合案内委託料、それから常駐警備委託料、それから来年度、これは27年度、双方とも約700万円ぐらい予算化されていたんですけれども、来年度はどうか。要するに、どのように解釈すればいいのかお伺いいたします。

それから、38ページの説明欄の19負担金、児玉郡市広域市町村圏組合負担金、昨年度というか27年度は1億3,027万9,000円、これが1億3,500万円ですか、率にして22.5414%という説明があったと思うんですけれども、この増額の理由を教えてくださいと思います。

それから、41ページの同じく説明欄で、総合行政情報システム事業6,810万3,000円、これが27年度より1,329万7,000円増となっています。これは、一昨年よりも1,500万円増と。これ、毎年増加していくんですか、これについても御説明願います。

それから、74ページの説明欄の20番扶助費、これ、児童手当、施設等を除くとありますが、説明受けたわけですけれども、もう一度確認の意味で人数の確認をもう一度したいんですけれども、5万280人でよいのかどうか。再質問というか、確認の意味でお尋ねいたします。

それから、112ページの同じく説明欄の15工事請負費、公園遊具等撤去修繕工事費が300万円です。予算化されていますが、これ、27年度も同じ金額が計上されているわけですが、何年か計画で実施する予定なのか。また、この予算の中に、児童遊園という位置付けの公園があるんですけれども、これも含まれているのかどうかお尋ねいたします。

それから、113ページ説明欄の上里ゴルフ場管理事業中の17番、次のページ公有財産購入費3,000万円とありますね。これは、先日の全協の説明の中で、財産の取得についてという説明があったと思うんですけれども、これ地積1万159平方メートルを944万7,869円で買い上げるという説明があったと思うんですが、あと約2,000万円、これはどこに使うというか、全然別のものなのか。約2,000万円が、3,000万円計上されていて、全協では944万円何がしという説明があったと思うんですけれども、この関係について説明をお願いします。

以上です。

議長（伊藤 裕君） 総合政策課長。

〔総合政策課長 片岡浩一君発言〕

総合政策課長（片岡浩一君） 齊藤議員の御質問につきまして、順次御説明を申し上げたいと思います。

まず、38ページの児玉郡市広域市町村圏組合運営事業の負担金の増となっている理由ということでございます。こちらは、事務費分と公債費分がございまして、それぞれ増の理由を申し上げたいと思います。

事務費分でありますけれども、平成27年度の途中まで広域圏組合の事務所として用いております広域総合センターというのが、蛭川のほうにあったわけですが、そちらの老朽化に伴いまして、27年度の途中より、事務所は小山川クリーンセンターの事務室内に移動いたしました。広域総合センターにつきましては、新たな再利用する用に耐えない老朽化ということでございますので、この解体工事費を計上していることがまずございます。

また、それに伴いまして、小山川クリーンセンターの事務室の一部改修を工事行うといったことで、組合全体の事務費分の予算が増額となっていることに伴い、上里町の負担割合も増えているということでございます。

続きまして、公債費分でございますけれども、平成27年度に実施いたしましたはしごつき消防自動車の整備事業、それから新児玉分署の建設事業、消防庁舎、これは分署ですけれども、耐震化整備工事、こちらの事業を行った償還が28年度から開始するといったことで、公債費分の組合の予算が増えているため、上里町の負担割合も増えているということでございます。

続きまして、41ページでございます。

総合行政情報システム事業でありますけれども、こちらが増になっている理由ということでございます。13の委託料の一番下、社会保障・税番号制度関連システム開発業務委託料、こちらはマイナンバー制度に関連する委託料でございますが、平成27年度につきましては、6月補正など、年度中途での補正予算ということでお願いしておりました。しかしながら、28年度におきましては、補正予算の編成ではシステムの稼働に間に合わないといった都合がございまして、既に国のほうより、こちらの開発業務委託料の詳細が当初予算の編成時に明らかになっておりますので、補正対応ではなく、当初予算に計上させていただいたことによる増がございません。

また、平成27年度は、3月補正、先日の議会で御議決をいただきました自治体中間サーバープラットフォーム負担金、こちらは19の負担金、補助及び交付金のところがございます211万円、こちらを、27年度は年度途中の補正対応でお願いいたしましたが、28年度は当初予算から計上しているといったことによりまして、増というふうになっております。

なお、毎年増えていくのでしょうかという御質問でありますけれども、総合行政情報システム事業につきましては、いわゆる基幹系システムといったものを管理している事業でございまして、その年度によって基幹系システムの入れ替えの台数などが異なることから、今後の見通しにつきましては、現段階ではこちらで詳細に御説明することができませんので、御理解いただければというふうに考えております。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） 総務課長。

〔総務課長 岸 智敏君発言〕

総務課長（岸 智敏君） 齊藤議員の御質問に説明させていただきます。

まず最初に、27ページの共済組合の負担金の関係でございますけれども、これにつきましては、掛金の率の改定によりまして、金額が変更になったものでございます。

続きまして、32ページの広報かみさとの件でございます。

広報かみさとの件につきましては、1万8,000部ということで昨年と同様の印刷枚数となっておりますが、昨年の予算等々の中では、ページを一月18ページという形で積算しておりました。28年度におきましては、内容の充実等も含めまして20ページという形の中で積算した形で

計上させていただいております。

続きまして34ページの財産管理の中の除草代、除草費ということでございますけれども、これにつきましては、昨年もあったわけでございますけれども、35ページの上から2番目の……すみません、申しわけありません。広報の関係です。今、1万8,000部と言いましたけれども、1万800の間違いでございます。申しわけございませんでした。1万800部ということでございます。

なお、35ページの関係で除草費ということでございますけれども、上から2番目の駐車場等管理業務委託料という中で85万6,000円を見ております。

それから、電話交換の関係でございます。36ページの電話交換総合案内業務委託料ということでございますけれども、これにつきましても、臨時職員3名が携わった中で、今年度も同様に実施していきたいということでございます。

以上です。

議長（伊藤 裕君） 子育て共生課長。

〔子育て共生課長 山田 隆君発言〕

子育て共生課長（山田 隆君） 齊藤議員の御質問に御説明させていただきます。

74ページ児童手当支給事業、こちらの扶助費にある人数の関係ということでございます。

扶助費につきまして、児童手当施設等を除くと、児童手当施設入所等児童特例給付ということで、3つに分かれてございますけれども、この3つを合計しまして延べ1年間で5万280人ということでございます。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） まち整備環境課長。

〔まち整備環境課長 強矢 賢君発言〕

まち整備環境課長（強矢 賢君） 齊藤議員の御質問に対して御説明申し上げます。

まず、111ページから112ページにかけて、公園の管理事業の件でございますけれども、具体的には、112ページの公園遊具等撤去修繕工事300万円に対しての御質問でございます。

まず、この公園遊具撤去修繕工事につきましては、平成26年度、それから27年度にも行いました公園の遊具点検によって、撤去もしくは修繕が必要な箇所をピックアップしてございます。特に本来、公園の遊具管理指針ガイドラインにおきまして、撤去しなければならないというような遊具がございましたが、それは概ね平成27年度で撤去が完了しております。

しかしながら、ちょっと地元との調整もありまして、2基ほどまだ撤去しなければならない予定が残っておりますので、そこは調整して28年度に撤去する。それ以外は、修繕なのか撤去なのかという判断に基づきまして、来年度、撤去ないし修繕をかけていくということでござい

ます。

その中には、児童遊園のほうも含まれてございまして、長久保公園ですとか、ほかの児童遊園、こういったものも含まれてございます。

また、次に113ページの上里ゴルフ場の公有財産購入費でございますけれども、3,000万円ほど計上させていただいております。これは、先日御議決いただきました議案12号の財産の取得、こちらは944万7,870円を計上させていただきましたが、こちらは今年度の平成27年度の予算に対する契約の議案でございます、平成28年度の3,000万円につきましては、新たに来年度買収を見込んでいますと、地権者の意向等を踏まえて買収の取得できる見込みがあるということで、今後交渉ですとか、あるいは財産の、いわゆる遺産の関係ですとか、相続の関係とかがありますので、そちらも調査しながらですけれども、一応見込んでいる数字として、来年度3,000万円、先日の900万円何がしという契約につきましては今年度予算ということで、御理解いただければと思います。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） 暫時休憩いたします。

午前10時10分休憩

午前10時30分再開

議長（伊藤 裕君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

まち整備環境課長。

〔まち整備環境課長 強矢 賢君発言〕

まち整備環境課長（強矢 賢君） 齊藤議員の御質問のうち、児童遊園の撤去の年数をお答えしていませんでしたので、お答え申し上げます。

112ページの公園遊具等撤去修繕工事の300万円でございますけれども、こちらは何年ぐらい続くのかなという質問でございます。平成27年度までに、26、27年に点検をしたわけですが、これによるものが、今まで点検というものが、一斉点検を行っておらなかったで、26、27年一斉点検を毎年やるように今実施しているわけですが、ピークという意味では、修繕・撤去する金額が概ね見積額で700万円弱残ってございます。撤去したり、修繕したりという額。そのうち300万円、まだ残っている額の700万円のうち300万円計上させていただきましたので、平成29年度の予算の計上がどのようになるかというのは今後の検討なんですけれども、そういった意味では、28、29年、これがピークかなというふうに考えております。

しかしながら、毎年毎年点検すると、修繕が必要な遊具が生じたり、あるいは撤去が必要な遊具が少なからず生じてきますので、細説明の項目に計上するかは別としても、いずれにして

も修繕・撤去というものは今後も引き続き行っていくと。ピークという意味では、28、29年というようなことが、ピークの予算になるのかなというふうに考えております。

すみません、補足説明、以上でございます。

議長（伊藤 裕君） 一般会計予算の歳出に対する質疑を続行いたします。

質疑はありませんか。

14番、植原育雄議員。

〔14番 植原育雄君発言〕

14番（植原育雄君） 予算説明書の94ページの補助金のところ、リサイクル活動奨励補助金の527万6,000円でありますけれども、前年度は417万3,000円で110万3,000円のアップですけれども、その理由の説明をお願いしたいと思います。また、28年度予算527万6,000円、理由と一体化していると思いますが、積算根拠について説明をお願いしたいと思います。

あとそれから、予算説明書の124ページの補助金のところ、上里町中学生体験研修参加費補助金50万円ありますけれども、その積算根拠について説明をお願いしたいと思います。それで、わかりましたら26年度実績、そして27年度分の見込み件数、それから補助金額についてもあわせて説明をお願いしたいと思います。

以上です。

議長（伊藤 裕君） まち整備環境課長。

〔まち整備環境課長 強矢 賢君発言〕

まち整備環境課長（強矢 賢君） 植原議員のリサイクル活動奨励補助金について御説明申し上げます。

増額の理由でございますけれども、集団の資源回収、これは各団体、PTA等、あるいは育成会等の団体から資源化されたもの、あるいは行政区から、あるいは各家庭から出た資源ごみというんでしょうか、そちらを回収して、それに伴いまして、その回収量に合わせて、各団体ではキロ6円、それから、行政区ではキロ5円を奨励補助してございます。団体数の近年の伸びですとか、あるいは回収量の量、これに応じてこの見込みで増額となっております。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） 学校教育課長。

〔学校教育課長 谷木章二君発言〕

学校教育課長（谷木章二君） それでは、植原議員の御質問に御説明させていただきます。

124ページ、上里町中学生体験研修参加費補助金ということでございます。これにつきましては、国際理解教育に対する補助ということで、経過をたどって実施しているものでございますけれども、今年度の予算としては50万円、内容としては、外国への研修につきましては10万

円の上限、国内につきましては5万円以内の補助ということでございます。

実績関係でございますけれども、平成26年度には7件50万円の支出でございます。平成27年度につきましては、現在まで希望、申請がなかったものでございまして、現在、支出ベースではゼロでございます。

あと、周知等につきましては、町の広報等や何かに4回程度、それから学校サイドでの話とか、いろいろさせていただいておるところでございます。

以上です。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔 11番 沓澤幸子君発言 〕

11番（沓澤幸子君） 2回目の質問をさせていただきます。

答弁をさせていただいたんですけれども、確認しておきたいところがありますので、お願いしたいというふうに思います。

一つは、学校給食センターのことでありますけれども、町長は7対4とおっしゃいましたけれども、6対4が正しいんじゃないかなというふうに思いますので、そこが1点です。

それと、るる経過説明をしていただきましたけれども、学校給食センターの調理師さんの正規雇用をずっとしてこなかった結果、いわゆる、うまく機能できなくなったことによる民間委託なのではないかなというふうに思いますけれども、やはり安心・安全な給食を、また8,000食からの給食という特殊なセンターでもありますので、そうしたことを考えますと、民間委託することによって急増する負担額を考えますと、今後ますます増額するのではないかなという心配もするわけなんですけれども、その辺についてお尋ねしたいというふうに思います。

それと、ケアプランのところでありますけれども、要支援1・2の方の何%かが新総合のほうに移動するというところで、222ページのほうも私も見ているんですけれども、それにしても、半分以上になっていることについて、移行する方をそれだけ多く見込んでいるということなのかどうか。その点について、お尋ねしたいというふうに思います。現在の要支援1・2の対象者が何名おられて、そのうちの何名分をそちらに見込んでいるのかということですね。

あと、児童館でありますけれども、午前中の常勤はほとんど2名ないし1名という状態でありますけれども、これで子育て支援の館としての仕事が充実できるのかどうか、お尋ねしたいというふうに思います。

あと、公立保育園の保育士の賃金16万円弱だということでもありますけれども、県内での平均はどのくらいになっているのか、お願いしたいというふうに思います。

それと、1回目の質問で落としてしまいましたが、124ページの学力向上推進事業1名、賃

金でありますけれども、指導室に配置するというものであります。指導室に配置して、後で説明をお聞きしましたところ、日々学校のほうに、現場のほうに行っていただくというように考えているようでありますけれども、その指導室に配置する教員においては、校長先生経験者みたいな方を想定しているようでありますけれども、現場としてはどうなのか。やはり、ともに悩みを共有し合えるような人が来ていただける、同世代といたらおかしいんですけども、余り管理職的な人に来ていただくよりは、ともに悩みながらアドバイスしていただけるような方を配置していただいたほうがありがたいんじゃないかなというふうに思ったりしますけれども、その辺についての考え方、また現場の声がありましたらお聞きしたいというふうに思います。

町民課のほうに再度お尋ねしますが、上里町は2,500から2,600枚が該当しますよということでしたけれども、上里町の現在の申し込み件数は1,500程度だったように聞いていますが、再度そのところを確認したいことと、スムーズに交付が今できている状況なのかどうか、お願いしたいというふうに思います。お願いします。

議長（伊藤 裕君） 町長。

〔町長 関根孝道君発言〕

町長（関根孝道君） 議員のおっしゃられるように、負担割合については6対4でございます。ただ、議員の数につきましては7対3ということでございますので、いずれにしましても上里町の比率が低いわけでございます。管理者とよく相談しながら、この辺を6対4にするのか7対4にするのか検討してみたいと、そのように考えております。

議長（伊藤 裕君） 副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 143ページの本庄上里学校給食組合の委託の関係でございますけれども、先ほど御説明申し上げましたように、平成28年度から調理業務等の委託を全面的にするという方針でございます。

その中で、委託化によって給食の質が低下しないかというような御質問でございますけれども、調理業務につきましては民間委託になりますけれども、献立の作成や調理方法、食材の選定など、給食の内容や味、栄養価等に関わる重要な部分については、委託後も給食センターの栄養士を中心として、給食センターが責任を持って行うということでございますので、質が低下することはないということでございますけれども、低下しないように、これからも進めていきたいというふうに考えているところでございます。

また、委託の方向性でございますけれども、近年、各県内のセンター等の状況につきましても、年々こういった形で委託が増えているというような状況でございます。本庄上里学校給食

センターにつきましては、先ほど申し上げたとおり、正規の職員が設立当初は全職員で、正規の職員で対応したわけでございますけれども、それが年々、正規の職員が退職等によって減っていくということで、センターとしても給食センターの委託化については、長年にわたりまして給食議会の中でいろいろ議論する中で、委託をするという方向で進めたところでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

また、あわせまして、給食議会については安全・安心な給食を安定的に供給するために、必要な措置であるというようなことでございますので、町といたしましてもその辺をしっかりやっていただくということを念頭に、今回当初予算の中で予算を計上させていただいたところでございます。

議長（伊藤 裕君） 高齢者いきいき課長。

〔高齢者いきいき課長 小暮秀夫君発言〕

高齢者いきいき課長（小暮秀夫君） 沓澤議員の御質問に御説明をさせていただきます。

67ページの介護予防ケアマネジメント事業委託料につきましては、1カ月75人を見込んでおります。継続の方ということで、年間で900人を見込んでおります。

それと、介護保険の特別会計でございますけれども、222ページ、こちらのところでございますけれども、こちらの介護予防生活支援サービス事業、13委託料サービス事業委託料、こちらの中に、総合事業ケアマネジメント事業委託料という形の中で、ケアプランAということで、現行相当が1カ月で103人を見込んでおります。また、緩和した基準ケアプランBでございますけれども、1カ月で41人を見込んでおります。合計で246人分を見込んでおります。

以上です。

議長（伊藤 裕君） 子育て共生課長。

〔子育て共生課長 山田 隆君発言〕

子育て共生課長（山田 隆君） 沓澤議員の御質問に御説明させていただきます。

まず、79ページのほうで、児童館の関係でございますして、先ほど常勤の勤務状況を御報告させていただいたところでございますけれども、この人数で児童館としての仕事が充実できるのかという御質問でございます。

こちらにつきましては、各館常勤2名ないし1名が配置されているところでございますが、それ以外に役場正職員、それから館長が配置されておりまして、現在におきましても、年間を通じて各種教室、体力向上事業ですとか、そういったことを充実してやっているところでございます。

それから、75ページ、公立の保育士の賃金、県内平均ということでございます。こちらにつきましては、手元にはちょっと資料がないんですけれども、27年度、28年度を比較しましても、

賃金のほうは増額を見込んでおりまして、こちらについても充実していきたいと考えております。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） 高齢者いきいき課長。

〔高齢者いきいき課長 小暮秀夫君発言〕

高齢者いきいき課長（小暮秀夫君） 沓澤議員の御質問で、先ほどちょっと訂正をさせていただきます。合計の見込みの人数ですけれども、75人、103人、41人、合計219人でございます。訂正させていただきます。よろしく申し上げます。

議長（伊藤 裕君） 学校指導室長。

〔学校指導室長 福島 彰君発言〕

学校指導室長（福島 彰君） 沓澤幸子議員の御質問に対しまして御説明をさせていただきます。

124ページになります、学力向上推進事業の中の学校指導員に関してでございますけれども、これに関しましては、職務内容としましては、教育活動及び学校経営の指導・助言に関すること、あるいは教育相談に関すること等を考えておりまして、主に学力向上に関する企画とか連絡とか調整とか、そのような職務をしていただくことを想定しております。

議員がおっしゃったとおり、現場としてはどうなのか、ともに悩み、アドバイスできるような方が必要なのではないかというお話でございますけれども、こちらとしましても、やはり現場のためになるようなことを念頭に置いて、職に当たっていただきたいというふうに思っております。

したがいまして、ともに悩みアドバイスできるような方というのは、要するにそれなりの経験がある方だと思いますので、そのようなアドバイスと、ともに悩むような方を学校指導員として配置できるようにしていきたいというふうに考えております。

以上です。

議長（伊藤 裕君） 町民福祉課長。

〔町民福祉課長 板垣延雄君発言〕

町民福祉課長（板垣延雄君） 沓澤議員の御質問に御説明をさせていただきたいと思えます。まず、マイナンバーカードの申し込み件数ということでございますが、これも3月10日のデータでございますが、J・L・I・Sのほうに上里町民の方で2,260件、3月10日現在で申込みがあったということを聞いております。

それと、2点目といたしまして、マイナンバーカードの交付に関しまして、スムーズにいつているかという御質問だったかと思いますが、今現在、町民福祉課のほうでは、マイナンバー

の受け取りに関しまして、予約制という形で行わせていただいております。また、交付窓口のほうも、一般の窓口と分けまして設けさせていただいておりますので、今の段階ではスムーズに交付が進んでおります。

以上です。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

9番、納谷克俊議員。

〔9番 納谷克俊君発言〕

9番（納谷克俊君） では、何点か伺ってまいります。

まず、説明書80ページになります。款3 民生費、項2 児童福祉費の中の児童館費でしょうか、18の備品購入費ということで、施設備品購入、東児童館扇風機壁掛け4台というような御説明だったかと記憶しておるんですけども、この扇風機の設置というのは暑さ対策なのか。もし暑さ対策だとすると、エアコンではなく扇風機ということを考えられた理由と伺いますか、その辺を教えていただければと思います。

続きまして、同じく児童福祉費の中の目4 児童福祉運営費、これは83ページになります。13 委託料として、ファミリーサポートセンター事業委託料ということで、74万6,000円の計上でございます。

全協の中でも説明いただいたところではあるんですけども、その説明によりますと、ファミリーサポートセンター事業を委託することにおいて、社会福祉協議会がアドバイザーだったのですかね、その方を雇われているというお話だったんですけども、ここ数年の実績を見る限り、実際に使われている時間ということを見ると、他の社協に委託している事業等もあると思うんですが、そういったいろいろな中で、現行の職員体制の中でお願いすることによって、この委託料というのを削減することができないのか、そのようにお願いすることができないのかというのが2点目でございます。

続きまして、94ページ、款4 衛生費、項2 清掃費、目1 清掃総務費の中の、先ほど同僚議員から御質問がありましたリサイクル活動奨励補助金527万6,000円の中でお伺いいたします。

各種団体や行政区の中のリサイクル活動ということでございましたが、この事業も長くなってきたのかなと思います。各種団体一生懸命やっていますし、それは本当に大変なことだなと思います。また、各行政区のほうにおいても、本当に大変御苦労されていると思うんですけども、もうそろそろこのリサイクルという意識が、分別、分けて資源を再資源化するというのが、ほぼ意識的には当たり前という状況になってきたのかなと思う中で、行政区に対する補助というの、そろそろ考えていく時期なのかなとは思っています。

そこでお伺いいたしますけれども、他の自治体、近隣自治体等で、こういった実績状況等が

あるのかどうか、その辺をお尋ねいたします。

続きまして、95ページになります。

同じく項2 清掃費の中で、目3 し尿処理費でございます。全員協議会の説明の中で、28年度は配管の分の補助が、また復活といいますか、あるということで、1件当たりの補助額が多くなるということで、この内訳が10基で、5人槽6基、7人槽4基予定されているということでございますが、非常に細かい話で恐縮なんですけど、この浄化槽の人槽というのは、住宅の延べ面積によって変わってくるのかなと思うんですけども、万が一10基の中で、申請上7基のほうが多くなれば当然予算額が増えてしまうわけなんですけど、この全体の予算の中で7人槽が多くなれば増えるわけで、7人槽が多く出た場合に、全体の中の補助基数が減るということがあるのか。それとも、10基の枠は確保した中で、増額補正というものが考えられるのかをお尋ねいたします。

最後になります。143ページ、款9 教育費、項5 保健体育費、目2 給食センター管理費でございます。

先ほど来、同僚議員の質問がございましたが、同僚議員の最初の質問の中での御説明の中で、ほぼ理解したつもりではあったんですが、1カ所どうしても腑に落ちないところがございます。ただ、この質疑をこの場でするのが適切かどうかというところは、多少私もどうなのかなという疑問は残るんですけども、少しやっぱり解消したい部分がございます。

というのは、増えた中に、米飯について今までは米飯炊いたものを購入していたと。その部分が委託になるから、そこで2,400万円増額という御説明だったかと思うんですが、私が記憶している範囲、だいぶ古い話になってしまいますが、確か私らだとか、先ほどの沓澤議員が給食組合の議員をやっていた当時のお話になりますけれども、米飯については当時の説明で、公設民営というお話を聞いておりましたし、確かに行政財産を貸し付けて、そこで米飯の組合ですかね、そこが炊いていたということであります。

となると、その部分でももちろんお金が、炊いたものを購入するという中で、炊く部分の人件費等々含まれたものを購入しているわけですから、ここが委託になることによって、確かに行政財産の使用料というものはなくなるかもしれ 行政財産じゃないのか、行政財産でいいのか。なくなるとは思うんですけども、その部分で2,400万円増額になるというのは、どうしてもこれは納得がいかないのかなと思うんですね。

その辺、ここは給食議会ではございませんので、御説明できる範囲で構いませんし、是非その辺について、今後給食議会も行われると思います。先ほど町長も副管理者ということで、管理者会議であるとか議会があると思いますので、その辺については是非負担が、適切な負担増であればいいのですけれども、少しわかりづらいところがあれば、貴重な財源から負担金を支

出するわけですので、その辺をしっかりと協議をしていただきたいと思いますけれども、以上、御説明をお願いいたします。

議長（伊藤 裕君） 子育て共生課長。

〔子育て共生課長 山田 隆君発言〕

子育て共生課長（山田 隆君） 納谷議員の御質問に御説明させていただきます。

まず、80ページでございます備品購入費、こちらは東児童館の壁掛け扇風機4台ということでございます。

こちらを設置する理由ということでございますけれども、これは施設における事情なんですけれども、東児童館は非常に児童の数も多い状況で、また、家混みの中にあるという状況でございます。当然夏場、本当に暑い盛りには、エアコンを使わなくてはいけないんですけれども、それ以外、ほかのお宅が窓をあけて循環しているような時期ですね。そういった時期に、東児童館の中、空気が大変こもってしまうと。そのような状況にございまして、壁掛け扇風機を設置することで空気の循環を起こして、過ごしやすい状況をつくっていきたいと考えてございます。

それから、83ページのファミリーサポートの委託料ということでございます。こちらにつきましては、提供会員、それから依頼会員ということでやっているわけなんですけれども、これを現行体制の中で、社会福祉協議会に委託する現行体制の中でできないかという御質問でございます。

こちらにつきましては、会員数が増えていかないと、こちらの事業も循環していかないのかなと考えてございますので、今後につきましては、PRの体制、それから費用対効果も検討しながら、より効率的な方法がないか模索しながら、考えていきたいと思っております。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） まち整備環境課長。

〔まち整備環境課長 強矢 賢君発言〕

まち整備環境課長（強矢 賢君） 納谷議員のリサイクル活動奨励補助金についての御質問に御説明申し上げます。

94ページで、先ほど齊藤議員からも御質問ありましたリサイクル活動奨励補助金527万6,000円を計上させていただいておりますという説明の中で、補助金の内訳としては、行政区に対しておおむね見込んでいるのが16%ぐらいで、団体に対して85%見込んでおります。圧倒的に団体のほうが補助率が ごめんなさい、計上している予算に対しての補助金額のウエートが大きいんですけれども、やっぱり団体は、それなりの資金源にもなっているというような部分もあろうかなというふうにも思います。行政区の中で、児玉郡市では、行政区での補助金は計上

しておるところはございません。上里のみということになっております。

また、全国的にも幾つかピックアップして調べたことがあるんですけども、割と行政区に対して奨励補助金を出している事例というのは少ない状況です。まれに見る状況です。リサイクル団体については比較的あろうかなと思うんですけども、ちょっとリサイクル団体への補助、こちらはちょっと児玉郡市での確認をしておりますが、あったとしても、それほど全国的にも行政区よりは多いだろうというふうには感じております。

今後のあり方なんですけれども、行政区に対しても16%というウエートで、全体的に見ればウエートの少ないんですけども、今後はある程度、議員おっしゃるように、リサイクルのいわゆる意識というのでも向上しておりますし、また昨年度は、リターンですね。いわゆる商品を買って、ペットボトルであればペットボトルを買ったところにお返しするというようなことに積極的に取り組むべきかなというふうに思いまして、まずそこを広報で強くしております。

すみません、児玉郡市は全県的に見ると、行政区への補助というのは少ない傾向にあるんですけども、行政区でも児玉郡市は、ごめんなさい、本庄、神川、美里ともにあります。失礼しました。ただ、私どものほうで確認したところ、全国的にみると割とまれなケースかなと思います。リサイクル団体についても、やはり児玉郡市では団体補助がございます。単価的には3円から6円ぐらいですかね、というのが実績でございます。

そういった意味では、今後リサイクル活動の意識の状況を勘案して、特に行政区に対しての補助については、各近隣市町とも調整を図りながら、ある程度意識は向上しているということも認識しておりますので、今後、区長様とも連絡・調整しながら、対応していきたいというふうに思います。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） 副町長。

〔副町長 高野正道君発言〕

副町長（高野正道君） 94ページのリサイクル活動奨励費補助金の関係でございますけれども、ただいま課長のほうから、補助といたしまして、各種団体と行政区に補助をして、奨励しているという説明があったわけでございます。

納谷議員から、行政区についてもそろそろ見直しをしたらどうだろうかというような御質問に対しまして、課長のほうから児玉郡市の状況ですとか、また全県的に見ると、行政区で出す補助というのは余り多くないというような状況がございまして、今後検討していくという説明があったわけでございますけれども、町としては、その辺の状況については十分理解しているところでございますけれども、しかしながら、数年前に衛生委員さんの制度についても廃止をいたしまして、行政区の区長さんにはいろんな面で、今までの衛生委員さんに対する、いろん

な事業に対するかわりというんでしょうかね、そういう部分で、町を挙げて、区長さんに御理解していただいて進めている関係もございますので、その辺を踏まえまして、児玉郡市内ですとか他の県、また状況を踏まえて、これは検討課題ということで御理解をさせていただければありがたいと思います。

議長（伊藤 裕君） 上下水道課長。

〔上下水道課長 宮下忠仁君発言〕

上下水道課長（宮下忠仁君） 納谷議員の浄化槽設置補助に関する御質問に説明をさせていただきます。

5人槽、7人槽は実績から計上しているものでありまして、仮に7人槽が多くなった場合は、10基から減らすか、もしくは他の市町村の過不足金などの状況を見ながら、増額の要望等をしていきたいと考えております。

議長（伊藤 裕君） 教育長。

〔教育長 下山彰夫君発言〕

教育長（下山彰夫君） それでは、納谷議員の給食センターの件の米飯についてのことについて、ちょっと説明させていただきたいと思います。

先ほど、公設民営という形で動いていたので、米飯を自前でやっても変わらないんじゃないだろうかというお話だったかと思います。

この米飯方式ですけれども、公設民営のは、給食センターの中にある炊飯施設、これを民間に貸し出して、その貸し出して、民間の人たちが炊飯した御飯を購入していたというのが現状なんです。これを今度は、公設、いわゆる自前にするということですので、自前で炊く人数、民間の人たちが炊いていた人数がどうしても必要になってくるということが、一つの人員増加の問題になるわけです。

したがって、条件を変えたということで、7人増えてしまったということだと思っておりますけれども。

以上です。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

9番、納谷克俊議員。

〔9番 納谷克俊君発言〕

9番（納谷克俊君） ありがとうございます。

教育長のおっしゃったこと、よくわかるんですけれども、炊いたものを購入していたということは、その購入した米飯に人件費が乗っかっていたものを買っていたわけで、以後は多分、お米を買ってきて、それを自前で炊くわけですから、その購入するお米に対しては人件費が乗

っかっていないわけで、そこで、今度は7人増えても多分そことの差額というのがもちろんあるわけで、そこがちょっと疑問だったと思うんですけれども、恐らくここで議論をしても、なかなかする場所でもないと思いますし、是非そんなことも含めてこれから議会を開かれるのかなと思うんですが、教育委員として、また副管理者としていろいろ意見を言っていたらあればありがたいと思うんですけれども、その辺はいかがでしょうか。

議長（伊藤 裕君） 教育長。

〔教育長 下山彰夫君発言〕

教育長（下山彰夫君） 給食委員の、教育委員会の一員ですので、この件につきましては、そのたびにいろんな話が出てまいりますので、今、納谷議員がおっしゃられたことも含めまして、給食、教育委員会の中で話をさせていただきたいというふうに思っております。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

5番、齊藤崇議員。

〔5番 齊藤 崇君発言〕

5番（齊藤 崇君） 2回目の質問をさせていただきます。

ちょっと先ほど漏らしちゃった点がありますので、128ページの項2小学校費、説明欄の14使用料及び賃借料の教育用機器賃借料なんですけど、1,400万円ほどあると思うんですけれども、これは説明があったとは思いますが、これ、結構な金額でもありますし、どのような機器を賃借する、また、その内容を説明していただきたいと思います。

それと、同じところで、今度18の備品購入費、図書購入費なんですけれども、これが153万円というふうに予算化されています。今年度より275万6,000円減額予算となっていますが、これについての説明をお願いします。

それと、ちょっと戻りまして、125ページの款9教育費、項1教育総務費の説明欄の13の委託料、ALT講師派遣委託料4人分ということで1,500万円ほど予算化されています。これは、ALT1人当たり380万円ぐらいですかね。ALTというのはアシスタント・ランゲージ・ティーチャーというものの頭文字で、補助的な役割をするわけなんですけれども、これは、例えば何年度からこの制度を導入しているのか。今後ともこれはずっと継続されていくんだと思うんですけれども、その辺について。それから、効果についてはどのように測定しているのか、効果は上がっているのかということをお伺いしたいと思います。

それから、さらに戻って最後になりますが、100ページの款5の農林水産業費、項1の農業費の中の農業振興費、説明欄の19農産物加工研究会補助金3万円と予算化されています。これは、俗に言う第6次産業的な考え方でいいんだと思うんですけれども、これは今後、国でもこういうことに注目し始めて、第6次産業というものがクローズアップされてきていると思うん

ですけれども、これについて町ではどのように、今後こういったもの、6次産業に対しての、こむぎっち、小麦とか地場産をもとにこういった研究を進めていくには、もうちょっと予算的にも増やしてもいいのではないかというふうに考えるわけですが、この辺の今後の見通しについて伺いたいと思います。

それから、同じその1つ下、新規就農総合支援事業補助金450万円。説明では1人150万円の3名というふうな説明があったかと思うんですけれども、これについて、やはりこれは、今度は第1次産業、農水産業ですね。これはやはり国を支えるため、町民、私どもの、この辺だと水産はないんですけれども、農業のほうを支えていく、若者の就農について支援していこうというふうな考え方であろうとは思いますが、この辺について、やはり新規だと本当に経費が、莫大なあれがかかるわけですね。その辺の支援のあり方が、これが妥当かどうかということで、また、3名というのは枠がどうなのか、27年度実績も踏まえて説明していただければというふうに思います。

以上です。

議長（伊藤 裕君） 学校教育課長。

〔学校教育課長 谷木章二君発言〕

学校教育課長（谷木章二君） それでは、齊藤崇議員の御質問に御説明をさせていただきますと思います。

まず、1点目でございますけれども、使用料、賃借料ということでの御質問でございます。これにつきましては、大変金額も大きくなっておりますけれども、これは各学校の授業用のパソコンの賃借料であるということでございます。

それから、同じく小学校費の図書関係でございますけれども、今年度につきましては、昨年度につきましては、おとし教科書採択の関係で、新たに教科書関係が新しく変わったということでございますので、教師用の指導書ですとか、その他の教員関係用の図書類を大変多く購入したものでございまして、その分が今年度には、28年度についてはないというふうなことでございますので、その分の減額が大きなものということでございます。

それから、ALTの外国人指導助手の関係でございますけれども、いつごろからということでございますけれども、町で始めましたのは平成13年度ということでございます。ALTですから、語学の指導助手ということで、積極的に採用させていただきまして、外国語活動などを通して積極的な活用を図っておるということでございます。

また、今後については、ALTについてはどういう方向になるんだろうかということでございますけれども、やはり文科省のほうで英語教育がどのような時間割の中で、どういうふうに評価の中に入ってくるのかということをよく見定めていきませんと、さてALTを縮小す

るか、あるいは拡大するか、そのようなところは、また今後の検討課題であるのかなということと考えております。

以上です。

議長（伊藤 裕君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 南雲定夫君発言〕

産業振興課長（南雲定夫君） 齊藤議員の質問に対して御説明申し上げます。

まず、6次産業化の件なんですけれども、上里町農産物加工研究会につきましては、6次産業化ということで、梨ジャムの製造であるとか、ふれあいまつり、桜まつりで地元の小麦を使った料理の提供であるとか、いろんな研究しているんですけれども、町としても6次産業化が今後重要だということで、平成28年度に農業振興プロジェクトというものを策定します。その中で、6次産業化の取り組みについて、農業者の意見を聞いたり、関係団体の意見を聞いたりして検討していきたいと考えております。

もう1点なんですけれども、新規就農者の就農の奨励金なんですけれども、これにつきましては全額国費でございまして、1人150万円ということで5年間、所得が上がると支給の額が変わるとことはあるんですけれども、これについては農林振興センターと町が、就農については当初収入が安定しないということと、当然就農するには費用もかかりますので、重要な奨励金だと思いますので、相談を随時受け付けて、必要な分については予算を確保していくということで、今現在受給されている方が3名ということで、また今後増えてくれば、その分については、また予算のほうを計上させていただくということで予定しております。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

4番、猪岡壽議員。

〔4番 猪岡 壽君発言〕

4番（猪岡 壽君） 4番、猪岡でございます。

39ページの中ごろにあります上里町コミュニティバス運行事業補助金5,422万5,000円、これについて質問させていただきます。

2月28日に運行式が終わりまして、今、新しいコミュニティバスが町の中を走っているわけですが、非常にデザインもいいし、こむぎっちも映えていていいという評判を聞いております。

それで、私も昨日ちょっと配りものがあつたので、町の人に聞いてみたんですが、確かにそういう面で、バスが新しくなるといいということなんですけど、やっぱり乗っている人が、始まったばかりなんですけれども、ちょっと少ないねということなんです。その方が、町民の

方が言うには、例えば小学生に体験で乗せてみたらどうかと。要するに、小学校の授業、社会科の授業なんかで、町の中を史跡を巡ってみることもいいんじゃないかなと。そうすれば、町にこういったものがある、またそれに対して、バスに乗ってみて、こういうバスだったということが体験できれば、また家庭で、ここへ買い物に行ってみようとか、バスで行ってみようとかということも出てくるんじゃないかなというふうに思います。

例えば史跡といいますと、今テレビで、大河ドラマで「真田丸」ですか、これをやっています、この間、先々週でしたか、神流川の合戦ですよね、北條氏直と滝川一益が戦ったところだということが出ていました。そういったところにコミュニティバスを使って社会科の授業に行ってみるとか、そういったこともできれば一石二鳥みたいな、確かに時間的に難しいところもあるんですが、利用客、利用者が増えるようなことにつながるんじゃないかなというふうに思います。

いずれにしてもこれだけのお金がかかって、今度はお金ももらえるようですし、補助金も出て、5,400万円はかからないと思うんですが、やはり最終的な目的はいかに利用者を増やすかと。1万人ちょっとだったものを2万人、3万人に増やすということが大切んじゃないかなというふうに思いまして、その辺をどうかなと質問させていただきます。

それと、もう一つ、時刻表の小さいのがあるということなんですが、これもあれば便利だなということも言っていました。ですから、もしできれば広報と一緒に毎戸配布みたいな形をして、こういったとこに何時頃バスが通るんだよということになれば、もっと利用者が増えるんじゃないかなというふうに思うんですが、その点について、1点だけですがお聞きしたいと思います。お願いいたします。

議長（伊藤 裕君） 総合政策課長。

〔総合政策課長 片岡浩一君発言〕

総合政策課長（片岡浩一君） 猪岡議員から御質問いただきました上里町コミュニティバス運行事業補助金の御質問につきまして、説明を申し上げたいと思います。

現在、運行開始をいたしまして14日目ということになりました。私も常日頃、乗車人数については気になっているところでございます。議員がおっしゃられたとおり、現在のところ乗車人数については、私が見ている限りでも、そこまで多くないのかなといったふうに思っております。

また、先日一般質問でもいただきましたとおり、やはりお近くの方にいろいろお声掛けをしていただいて、口コミの中で是非便利なので乗っていただきたいという思いもございまして、これまで区長会を初め、民生委員・児童委員協議会の会合ですとか、その他の場に総合政策課の職員が出向いて説明をしまいいりました。今後は老人クラブなどのほうにも足を運びまし

て、是非PRをしていきたいというふうに思っております。

御提案をいただきました、小学生を体験で乗せてはどうかということでございますけれども、町のコミュニティバスではございますが、既に民間事業者が運行しているものでございますので、なかなか小学生に試しにちょっと乗せるというのは、無償で乗車をいただくというのは難しいというふうに考えております。

社会科見学の時間などで、是非体験で乗せてはどうかというようなお話もございました。町と事業者のほうで結んでいる運行業務の仕様書によりますと、町のイベントなどがあった場合の運行については別途協議をするといったことになっておりますので、そういった中で行うことができないかというのは、今後の検討課題かなと思っております。

ただ、実際に今、定時・定路型のバスで運行しておりますので、その運行ダイヤに支障がない範囲で、イベントなどについても対応していかなくてはいけないという実態があるのが1点と、乗車人数が増えることについては、大変町としても好ましいことですし、民間事業者にとっても好ましいことではあるんですが、仮に小学生、何年何組の子たちが皆さん乗ったときに、満車のような状態になった場合に、一般の高齢者の方ですとか買い物をされる方が御利用いただけなくなった場合の積み残しの課題が今後出てまいりますので、そういったところは、町のコミュニティバスである以上、やはり優先すべきなのは一般の乗降客の方なのかなと思っております。

ただ、猪岡議員から、コミュニティバスの今後の、5,400万円ということで多くの金額をかけているものでございますので、町としては、是非このバスについては総合戦略でも掲げたとおり、これまでの巡回バスよりも乗車人数を増やせるように、事業者とさまざまな利便性の向上ですとかPR方法を考えながら、一生懸命やっていきたいというふうに思っておりますので、御理解をいただければと思います。

次に、コンパクト時刻表の話でございますけれども、毎戸配布いたしましたのは、コンパクトではない、普通の一般の時刻表を配布させていただきました。コンパクト時刻表というのは、その一つの停留所に限って、例えば神保原駅であれば神保原駅の発車の時間を掲載しているような時刻表になりまして、本当に小さいものでございますけれども、そういったものの毎戸配布につきましては、停留所がかなり多くございますので、お近くの停留所のものを全てつくって配布するというのは、非常に難しいのかなと思っております。

ただ、利便性向上の一環としていただいた御提案だと思っておりますので、今後こういった形で、よりわかりやすい時刻を住民の方にお知らせできるかというのは、検討していかなくてはいけないと思っております。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） 質疑がないようですので、以上で平成28年度上里町一般会計予算についての質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。

まず、原案に反対の方の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔 1 1 番 沓澤幸子君発言〕

1 1 番（沓澤幸子君） 議席番号11番、日本共産党の沓澤幸子です。

議案第21号 平成28年度上里町一般会計予算に反対の討論を行います。

2016年度上里町一般会計予算歳入歳出総額は88億3,450万円で、前年度と比べ6億1,350万5,000円の増額です。

町税の個人町民税は、納税者を前年より222人増と見越し、180万7,000円増となっておりますが、平成26年度1人当たりの町民所得平均は、県内でも大変低い57位とのこと。また、住民負担に直結する軽自動車税は制度改定により、1,000円から3,600円への負担増になることによって、1,606万6,000円の増額が見込まれています。

同和行政が終了し、不公平な事業はなくなっていますが、残事業である住宅資金貸付事業の公債費償還は進展が見込めない予算です。

歳出では、公立の放課後保育所2館において、国・県の基準であり、町条例でも定めた60人定員を超えた60人及び65人定員のところがあり、安全で豊かな放課後の場となっていない現状があります。

児玉郡市広域圏組合清掃施設運営費負担金は1億8,416万円の計上ですが、焼却中心であり、環境に配慮した事業に変えるべきです。

本庄上里学校給食組合運営事業負担金は、前年度より4,449万1,000円、率では38.85%増額の2億423万5,000円となりますが、調理全面を民間委託することです。2015年度は給食に異物が混入する問題も発生しています。成長期の子どもたちに安全・安心な給食を安定的に提供するためには、熟練し、安定して取り組める調理師さんが必要です。民間委託で経費が引き上がることは、学校給食を自校方式にと切に願った多くの保護者の願いにも逆行することであり、大変な問題だと考えています。また、1回委託に切り替えてしまったら、元に戻すことが非常に困難ではないかという観点からも、非常に重要な問題だと思います。

一方で、まち・ひと・しごと総合戦略のもとでは、新事業の中に、多子世帯保育料助成制度、

また学力向上推進事業、特別支援教育の実施、乳児おむつ等購入助成金、不妊治療費助成事業補助金、妊婦歯科健診事業委託料など、歓迎すべきものもたくさんあります。さらに、駅南に整備される街区公園も、大変喜ばれる事業だというふうに思っています。

通勤時に混雑が絶えなくて、強い地域住民の要望であった児玉工業団地アクセス道路事業に向けた予算も組まれたことは、歓迎すべき点だというふうにも思っています。

しかしながら、多子世帯の第3子については県に上乘せして無料となりましたけれども、第2子については所得制限やひとり親世帯に限られているため、多くが対象から外されてしまう現状が残されました。

まち・ひと・しごと創生交付金が給付に使えないなど、国の制限がありますが、消費税が8%へ引き上がったことによる町民の負担増が続いている中で、町民の負担を軽減することが大変求められているというふうに思います。将来を見据えた子育て支援策として最大の問題である、子育てにお金がかかる、このことに対して、負担軽減策が今年度の予算では不十分だということを指摘し、平成27年度上里町一般会計予算に反対としたいと思います。

議長（伊藤 裕君） 次に、原案に賛成の方の発言を許可いたします。

9番、納谷克俊議員。

〔9番 納谷克俊君発言〕

9番（納谷克俊君） 議席番号9番、納谷克俊です。

議案第21号 平成28年度上里町一般会計予算に賛成の討論を行います。

中央政府は平成28年度の経済財政運営の基本態度として、これまでのアベノミクスの成果の上に、デフレ脱却、経済再生と財政健全化を双方ともにさらに前進させることとしており、一億総活躍社会の実現に向けて、最優先で推進する必要がある緊急対策に取り組むとしております。経済見通しでは、緊急対策などにより、雇用・所得環境が引き続き改善し、経済の好循環がさらに進展するとともに、交易条件が穏やかに改善する中で、堅調な民需に支えられ、景気回復が見込まれるとしています。

直近では、景気を下支えしてきた円安基調の変化の兆しや中国経済の減速などによる不安要素が見受けられますので、特に留意をされ、各種政策を推進していただきたいと思えます。

上里町の平成28年度当初予算の編成においては、地方財政計画をもとに、税収や各種交付金、地方交付税などを見込み、適切な起債や繰入金により、重要施策や継続事業の推進、住民の福祉の増進に努めています。特に、上里町まち・ひと・しごと総合戦略による新規事業の取り組みについては、掲げられた基本項目の達成とともに、計画期間満了を迎える第4次総合振興計画における「人と自然が響きあう”ハーモニーガーデン上里”」の実現を目指すものとなっております。

一般会計予算総額は、前年比プラス7.5%弱、6億1,350万5,000円増の88億3,450万円であり、庁舎建設時を除いて、過去最大規模の予算編成となっております。

歳入面においては、町税で税額変更等による軽自動車税の増や固定資産税の伸びがあるものの、法人税率の見直しや町たばこ税の減により、マイナス0.1%を見込んでいます。各種交付金については、前述のとおり地方財政計画や実績を踏まえて計上されています。また、緊急防災・減災事業債の償還開始、臨時財政対策債の償還などにより、約1億4,400万円ほど増加する公債費償還財源として、これまで計画的に積み立ててきた減債基金から1億円の繰り入れを見込んでいます。さらに、上里中学校屋内運動場や外構工事などに伴い、各種目的基金の繰り入れ、財政平準化のために積み立てを行ってきた財政調整基金からの繰り入れなど、大幅な増額予算に対して、数年来の計画的な財政運営のもと、適正な歳入を見込んでおります。

なお、新しい取り組みとして、ふるさと納税制度における町特産物による返礼品制度の創設による寄附金の増額についても注目するところであります。

歳出面においては、重点政策の一つである上里サービスエリア周辺地区整備事業では、総合戦略における基本目標でもある農村公園の整備のための運営事業者決定や農業の担い手確保、農業の6次産業化推進、農業振興プロジェクトの策定など、重点配分がなされております。

児玉工業団地アクセス道路の用地買収、物件補償の推進、神保原駅南街区公園整備や橋梁保守、上里ゴルフ場整備など、土木費においても基盤整備や老朽化対策がなされております。

また、上里中学校の屋内運動場改築工事を中心に、各小・中学校の修繕等、次代を担う子どもたちの学習環境整備についても、積極的な予算配分がされているところであります。

そして、新規事業として不妊治療費助成事業補助金、妊婦歯科健診事業委託料計上による妊娠と出産の支援、乳児おむつ等購入助成や多子世帯保育料助成事業補助金、乳幼児のための商業施設環境整備改修事業補助金、保育所等整備交付金の計上など、子育てしやすい環境の整備に向けた取り組みは特筆すべきものであります。

一般会計当初予算の編成内容や町長の施政方針からは、厳しい財政状況を踏まえながらも、町民が安心して元気に暮らせるまち実現へ、総合振興計画、まち・ひと・しごと総合戦略の具現化に向けた各種事業への強い思いを感じると同時に、新たな町づくりの指針となる第5次総合振興計画、第5次行政改革大綱の策定など、さらなる行財政改革に対する努力もうかがえます。

景気回復の兆しがうかがえるものの、高齢化の進展化に伴い、社会保障関連費用の漸増、公債費の高止まり等、今後も財政健全化に向けた効率的な行政運営、自主財源の確保のさらなる努力、事業の選択と集中の取り組みを行い、町民が安心して元気に暮らせるまちとなるようお願いいたします。平成28年度一般会計予算の賛成討論といたします。

議長（伊藤 裕君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第21号 平成28年度上里町一般会計予算についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（伊藤 裕君） 起立多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

暫時休憩いたします。

午前 11時36分休憩

午後 1時30分再開

議長（伊藤 裕君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第30 町長提出議案第22号 平成28年度上里町国民健康保険特別会計予算について

議長（伊藤 裕君） 日程第30、町長提出議案第22号 平成28年度上里町国民健康保険特別会計予算の質疑に入ります。

質疑のある方は順次発言を許可いたします。

なお、予算書については15ページから19ページまで、予算説明書については165ページから197ページまでの歳入歳出予算全般についての質疑を願います。

質疑はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔11番 沓澤幸子君発言〕

11番（沓澤幸子君） 167ページでお尋ねいたします。

国民健康保険税の前年度収納見込みは88%だったと思うんですけども、今年度見込みについてお願いしたいと思います。

また、滞納繰越分については、2015年度の滞納整理によって大幅な不納欠損が生じていて、減額になっているということでもありますけれども、その滞納繰越分についての収納見込みについてもお願いしたいというふうに思います。

全協での説明では、軽減対象者が加入者全体の45.96%ということでもありますけれども、県

内自治体と比較してどうなんでしょうか。わかればお願いしたいというふうに思います。

また、国は市町村が運営する国民健康保険を都道府県化するに当たって、2015年度から保険者支援として約1,700億円を公費で投入していると思います。厚労省では、被保険者当たり約5,000円の財政改善効果になると言っておりますけれども、この支援額はどこに盛り込まれているのか、上里町では幾らぐらいになっているのか、お聞きしたいというふうに思います。

あと、繰入金、その他一般会計繰入金のところでありますけれども、前年度大幅に減額でしたので、やや元に戻った感がありますけれども、国の支援策を趣旨に沿って使うことになれば、ここがもう少し繰り入れることによって、保険者の軽減が図れるんじゃないかなというふうに思うところありますけれども、その点についてもお聞きしたいと思います。

議長（伊藤 裕君） 健康保険課長。

〔健康保険課長 山下容二君発言〕

健康保険課長（山下容二君） 沓澤議員の質問に対して御説明申し上げます。

消費税拡大部分についての、町の支援のほうが増えた部分についての御質問についてお答え申し上げます。

まず、ページで申し上げますと170ページなんですけれども、他会計からの繰入金ということでございます。財源としては、一般会計に一度、国庫あるいは県費ということで入りまして、その後、町の負担分4分の1を足して、国保の特別会計に繰り入れるという仕組みになっております。

内容としましては、7割、5割軽減、これの支援率を上げたりとか、新たに2%等ということで、上里町では国庫の財源としては1,900万円ぐらい伸びているというふうに思います。それと、町からの支援も625万円ほど合せますので、総額で2,625万円ぐらい増額を見込んでおるところでございます。当然、28年度の状況によって、ここは動いてきますけれども、そんな形で見込ませていただいております。

それと、もう1点、その他繰り入れ、元に戻った感があるというところの部分でございます。本来ですと、おっしゃるとおり財政支援の先ほどの部分等で少し、その他繰り入れ、減ってきてもいいところなんですけれども、大きく影響しているのが、歳出と歳入にある共同事業の関係でございます。歳出の拠出金のほうが伸びております。それと歳入の交付金、こちらは去年と比べて入ってくる分が少なくなっているという、これは国保連合会の見込みでありまして、この部分で思ったほど、税のほうの伸びに対して、繰入金のほうの減額をうまく図れていない部分であります。

ただ、これについても、28年1月から12月の部分で、今回も3月補正でお世話になっておりますが、調整がありますので、現在の時点での、埼玉県の全体での上里町の負担割合という形

で算出された部分ということをお願いしたいと思います。

私からは以上です。

議長（伊藤 裕君） 税務課長。

〔税務課長 須長正実君発言〕

税務課長（須長正実君） 沓澤議員の質問に対して御説明申し上げます。

平成28年度の収納見込みということでございますけれども、全体として何%ということでございますので、医療給付費分といたしまして、一般が88.50%、後期高齢者支援分が88.50%、介護納付金分が86.5%で見込んでおります。退職者分が、医療・後期・介護ともに97%で見込んでございます。

滞納繰越分につきましては、平成26年度の実績ですと、大体14.23%の収納実績でございました。今年度は大幅に、不納欠損によりまして、滞納繰り越しが減るということでございますけれども、例年の収納率を勘案しまして見込んでおりますので、特に何%で見込んでいるという見込み方はしてございません。

それから、軽減世帯数の割合ですけれども、県内で比較したデータがございませんので、こちらについてはちょっとお答えすることが、この場ではできない内容となっております。

以上でございます。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

よろしいですか。

5番、齊藤崇議員。

〔5番 齊藤 崇君発言〕

5番（齊藤 崇君） 歳入のところで、款9繰入金、項1の他会計繰入金の節3の出産育児一時金等繰入金というのが1,120万円とあります。

議長（伊藤 裕君） ページを言ってください。

5番（齊藤 崇君） 171ページです。

それで、179ページの出産育児一時金、款2、項4の目1、これが1,680万円とありますが、この数字の違いというか、これ多分、40人分を計上していると思うんですけれども、この数字がちょっと合わないというか、違うので、この説明をもう一度お願いできますか。

議長（伊藤 裕君） 健康保険課長。

〔健康保険課長 山下容二君発言〕

健康保険課長（山下容二君） 齊藤議員の質問に御説明させていただきます。

おっしゃるとおり、179ページ、こちらの出産育児一時金について、一般会計から繰り入れるということで、法定内繰り入れとなっております。歳出に対して3分の2相当を繰り入れろ

ということで、法的に決まっております。

以上です。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔 11番 沓澤幸子君発言 〕

11番（沓澤幸子君） 議席番号11番、日本共産党の沓澤幸子です。

議案第22号 平成28年度上里町国民健康保険特別会計予算に反対の討論を行います。

2016年度上里町国民健康保険特別会計予算は、38億8,767万2,000円、前年度より4,087万6,000円増です。歳入の中の国民健康保険税は6億1,767万3,000円で、前年度より3,771万3,000円の減額見込みとなっています。国民健康保険加入者は4,805世帯、8,642人で、前年度見込みより世帯、人数ともに若干減少見込みですが、加入世帯全体の45.96%が法定軽減世帯であり、低所得世帯が多数を占めています。

上里町の保険税は、県内では高いほうではありませんが、町民所得がこのように低いため、所得に対しては重い負担となっていると言えます。そうしたことから、一般被保険者の収納見込みも、現年度分について89%未満に抑えられているのが現状だというふうに思います。

一般会計からの繰り入れがどうしても必要ではないかと思えます。根本原因は、国の補助金の減額がありますけれども、国が2015年度から繰り入れている保険者支援費を趣旨に沿って保険者支援に使用し、保険税を引き下げを求めて、予算に反対の討論とします。

議長（伊藤 裕君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第22号 平成28年度上里町国民健康保険特別会計予算についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（伊藤 裕君） 起立多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第31 町長提出議案第23号 平成28年度上里町介護保険特別会計予算について
議長（伊藤 裕君） 日程第31、町長提出議案第23号 平成28年度上里町介護保険特別会計
予算の質疑に入ります。

質疑のある方は順次発言を許可いたします。

なお、予算書については23ページから25ページまで、予算説明書については201ページから
235ページまでの歳入歳出予算全般についての質疑を願います。

質疑はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔11番 沓澤幸子君発言〕

11番（沓澤幸子君） まずは203ページでありますけれども、第1号被保険者の保険料で
ありますけれども、2,702万8,000円の減額ということで、被保険者自体は人数も増えています
し、保険料も前年度改定しましたので、同じというふうに思います。そうした中で、収納率も
前年度は98.3%見込みを、今年度は98.8%に高く見込んでいるという説明でありましたが、な
おかつ2,702万8,000円の減額見込みになっている理由について、お尋ねしたいというふうに思
います。

214ページであります、の介護予防サービス計画給付費、これは、先ほど一般会計のと
きに質問しました64ページのケアマネジメント事業委託料事業費への委託料がこちらに変わっ
た部分とはまた違うのかどうか。222ページの部分というような説明もありましたけれども、
この要支援1・2のケアプランは、それでは何なのか。ちょっとわからないので、教えていた
だきたいと思います。

あと、222ページのところで説明いただいたと思うんですけども、私がちょっとうまく記
録できなかった部分があるんですけども、委託料と19の負担金補助及び交付金について、再
度説明願えればというふうに思います。

議長（伊藤 裕君） 高齢者いきいき課長。

〔高齢者いきいき課長 小暮秀夫君発言〕

高齢者いきいき課長（小暮秀夫君） 沓澤議員の御質問に御説明させていただきたいと思
います。

最初に、1号保険者の減の理由ということでございますけれども、こちらにつきまして、平
成28年度当初予算の積算につきましては、27年11月1日現在の1号被保険者で算定いたして
おります。第6期の介護保険事業計画では、第1号被保険者の人数について推計を、10月1日現
在で、恒等式という人口推計をしております。そちらの恒等の人口推計と実数の差が、介護保
険料の減という形の見積もりとなっております。

それと、214ページ、予防サービスでございますけれども、こちらにつきましては、222ページのこちらの説明につながるわけでございますけれども、最初に介護予防生活支援サービス事業、こちらの13の委託料、サービス事業委託料でございます。

こちらにつきましては、新規ということで、総合事業が開始されたことによって見積もりをしていることでございます。

こちらの中身につきましては、全協でも説明させていただきましたけれども、訪問型サービス事業、ヘルパーですね。こちらはシルバー人材に委託する予定でございますけれども、そちらのものがまず1つ目です。

2つ目としましては、通所型サービスでございますけれども、デイサービス、こちらにつきましては、町内6カ所に委託する予定の内容となっております。

3番目でございますけれども、総合事業ケアマネジメント事業委託料といたしまして、ケアプランAということで、現行相当のケアプラン、これも先ほど御説明いたしましたけれども、1カ月103人分を見込んでおります。それと、緩和したケアプランBということでございますけれども、こちらにつきましては、1カ月41人を見込んでおる内容でございます。こちらは緩和した基準ということの内容でございます。

それと、19番の負担金補助及び交付金の負担金、サービス給付費でございますけれども、こちらにつきましては、現行相当のヘルパー、それと通所型のデイサービスということで見えております。現行相当のヘルパーにつきましては月40人を見込んでおります。それと、デイサービスにつきましては130人を見込んでおります。

以上です。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔11番 沓澤幸子君発言〕

11番（沓澤幸子君） 議席番号11番、日本共産党の沓澤幸子です。

議案第23号 平成28年度上里町介護保険特別会計予算に反対の討論を行います。

2016年度上里町介護保険特別会計予算は、前年度より3,424万4,000円減額の16億685万4,000円となり、2000年度介護保険開始以来、初の減額予算となりました。保険料収納見込みを98.8%と前年度より高く設定していますが、4億34万9,000円で、前年度比2,702万8,000円の

減額となっています。

保険料は昨年に見直しで、基準額が月額220円年額2,700円の増額で、年額5万5,800円となりましたが、上里町では第1号被保険者の44.24%が基準以下であります。

介護保険制度は、3年ごとの見直しの度に改悪され、2015年8月から、介護施設を利用する方の補足給付の縮小や、所得に応じ利用料の2割負担が始まったところですが、要支援1・2のデイサービスとホームヘルプサービスを介護保険から外したり、施設入所も原則介護度3以上にするなど、サービスの制限が進められてきました。

こうした制度改悪のたびに、現場の職員の皆さんは苦勞し、今回の新しい総合給付事業についても、給付単価を確保するため、3月からの開始に努めてこられたわけでありませぬけれども、介護保険制度上の問題が余りにも大きく、重い保険料と重い利用料負担に対し、施設入所待機者も生まれているなど、安心のサービスになっていないことを指摘し、予算に反対の討論いたします。

議長（伊藤 裕君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第23号 平成28年度上里町介護保険特別会計予算についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（伊藤 裕君） 起立多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第32 町長提出議案第24号 平成28年度上里町後期高齢者医療特別会計予算について

議長（伊藤 裕君） 日程第32 町長提出議案第24号 平成28年度上里町後期高齢者医療特別会計予算についての質疑に入ります。

質疑のある方は順次発言を許可いたします。

なお、予算書については29ページから31ページまで、予算説明書については239ページから245ページまでの歳入歳出予算全般についての質疑を願います。

質疑はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔11番 沓澤幸子君発言〕

11番（沓澤幸子君） 質問させていただきます。

全協のときに同僚議員が確認した点について、広域圏のほうから聞いていないということでありましたけれども、前年度の資料をちょっと調べてみましたら、軽減対象の人数なども把握しておられて、報告を受けているところです。

その資料を改めてひもといてみますと、7割から9割の軽減を受けている方が41.20%でありました。全体の軽減が、1年前の予算のときですけれども、64.76でありました。今年度はどうなのかというのが非常に気にかかるところでありますので、わかるようなら御説明願いたいし、わからないようであれば後日でも構いませんので、お教えいただければというふうに思います。

それと、全て県の広域圏のほうでやられていることなので、なかなか見えてこない部分もありますけれども、広域圏には前年度、私、調べましたところ、大変な基金があったように覚えております。広域圏の基金の額、わかりましたら、お教えいただきたいなというふうに思います。

議長（伊藤 裕君） 健康保険課長。

〔健康保険課長 山下容二君発言〕

健康保険課長（山下容二君） 沓澤議員の質問に対して御説明を申し上げます。

まず、軽減対象なんですけれども、実際の数値というのは県の広域連合のほうでやっておりますので、把握はしておりませんが、もし仮に考え方として、基盤安定の人数が軽減額ということで、お答えさせていただいたのかなというふうに思われます。

それで、上里町で28年度に軽減対象になる人数は、2,109人ということをお願いしたいと思います。被保険者の時点を考えますと、大体7割ぐらいは軽減のほうの対象になっているというような形で、今までも推移しているのかなというふうに思います。

それと、広域連の基金の額ということで、こちらは総額は把握しておりません。ただ、今回の改定において取り崩して、90億円ほど入れて、保険料を上げないような形で90億円程度入れて、県全体の中で算出したというふうに聞いております。

私からは以上です。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第24号 平成28年度上里町後期高齢者医療特別会計予算についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（伊藤 裕君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第33 町長提出議案第25号 平成28年度上里町農業集落排水事業特別会計予算について

議長（伊藤 裕君） 日程第33 町長提出議案第25号 平成28年度上里町農業集落排水事業特別会計予算についての質疑に入ります。

質疑のある方は順次発言を許可いたします。

なお、予算書については35ページから37ページまで、予算説明書については249ページから257ページまでの歳入歳出予算全般についての質疑を願います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第25号 平成28年度上里町農業集落排水事業特別会計予算についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（伊藤 裕君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第34 町長提出議案第26号 平成28年度上里町水道事業会計予算について

議長（伊藤 裕君） 日程第34 町長提出議案第26号 平成28年度上里町水道事業会計予算についての質疑に入ります。

質疑のある方は順次発言を許可いたします。

なお、予算書については41ページから44ページまで、予算説明書については261ページから289ページまでの収入支出全般についての質疑を願います。

質疑はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔 1 1 番 沓澤幸子君発言 〕

1 1 番（沓澤幸子君） 261ページの営業収益のところの、給水収益の内訳についてお尋ねしたいんですけども、一般家庭の収益と、企業というんでしょうか、大口の割合について、お尋ねしたいというふうに思います。

以前、大きな企業が1社、自前の井戸を掘ったことによって、上里の水道会計に大きな打撃になっていると思いますので、やっぱり今後のことを考えても、私たち家庭の1人2人とは違って大きな影響を及ぼすところなので、お聞きしたいと思います。

議長（伊藤 裕君） 暫時休憩します。

午後2時0分休憩

午後2時8分再開

議長（伊藤 裕君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

上下水道課長。

〔 上下水道課長 宮下忠仁君発言 〕

上下水道課長（宮下忠仁君） 沓澤議員の御質問に御説明いたします。

27年度の現在の状況なんですけれども、一般家庭が81.7%、工場が18.3%の比率でございます。詳細につきましては、後ほど御提出させていただきたいと思います。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

11番、沓澤幸子議員。

〔 1 1 番 沓澤幸子君発言 〕

1 1 番（沓澤幸子君） ありがとうございます。

この比率は、多分戸数かなというふうに思いますけれども、売上高でいうとどういう比率になっているんでしょうか。これは売上高の比率でしょうか。

議長（伊藤 裕君） 上下水道課長。

〔 上下水道課長 宮下忠仁君発言 〕

上下水道課長（宮下忠仁君） これは、売上高の比率になっております。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありませんか。

14番、植原育雄議員。

〔14番 植原育雄君発言〕

14番（植原育雄君） 284ページ、予算説明書でありますけれども、15の委託料のところ
です。

漏水調査業務委託料369万2,000円でありますけれども、説明では、水道の本管の漏水調査と
いうふうに私は聞いたんですけれども、水道の本管の、どのような方法で漏水調査をされるの
か、説明をお願いいたしたいと思います。

それで、水道の本管から各地の地域へ配水されて給水されておりますので、各地の地域の漏
水量というのは、本管の調査をすれば漏水の量は特定されると思いますので、漏水量の多い地
域を特定していただいて、重点的に漏水対策を、財源を確保して、できる限り早急にお願
いしたいと思っておりますが、どうでしょうか。

また、次のページの285ページに、19の修繕費、給配水管の漏水等修理費2,500万円が予算計
上されておりますけれども、その積算内容について御説明をお願いしたいと思います。

議長（伊藤 裕君） 上下水道課長。

〔上下水道課長 宮下忠仁君発言〕

上下水道課長（宮下忠仁君） 植原議員の御質問に御説明を申し上げます。

業務委託で実施しております漏水調査につきましては、地下式消火栓に流量メーターを設
置いたしまして、夜間流量の多い地域の絞り込みを行っております。地域を絞り込みましたら、
その地域内に集中的に路面音聴調査を実施するなど、そういった手法で、効果的な発見に努め
てまいりたいと考えております。

続きまして、給配水管漏水等の修繕費でございますが、こちらにつきましては、この修繕費
の中に検満メーターのメーター料等も含まれております。実際、修繕料といたしましては、26
年度実績で846万9,608円といった内容になっております。修繕に関しましては、勃発的に、緊
急に自然漏水が起きておりますので、修繕の費用に関しましては出来高精算、工事を緊急に
いたしまして、そのときに図面を書き込みまして、その図面をもとに後ほど積算して、費用を払
っているというような状況になっております。

あと、訂正が一つございます。先ほど、検満メーターが含まれているというふうな表現をし
てしまいましたが、検満メーターは含まれておりません。失礼いたしました。

議長（伊藤 裕君） ほかに質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第26号 平成28年度上里町水道事業会計予算についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（伊藤 裕君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第35 町長提出議案第27号 平成28年度上里町下水道事業会計予算について

議長（伊藤 裕君） 日程第35 町長提出議案第27号 平成28年度上里町下水道事業会計予算についての質疑に入ります。

質疑のある方は順次発言を許可いたします。

なお、予算書については47ページから50ページまで、予算説明書については293ページから321ページまでの収入支出全般についての質疑を願います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（伊藤 裕君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第27号 平成28年度上里町下水道事業会計予算についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（伊藤 裕君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

散 会

議長（伊藤 裕君） 本日はこれをもって散会いたします。御苦労さまでした。

午後2時15分散会